

ふじみ野市防犯白書（防犯推進計画）

ふじみ野市防犯推進条例第4条に定める計画として、本防犯白書を策定します。

I 犯罪動向と自主防犯活動

1 全国及び県内の犯罪動向

全国の平成29年の刑法犯認知件数は、951,111件で、前年の犯罪件数996,120件に比べて-81,009件(-8.1%)と引き続き減少しました。平成14年のピーク時(約285万件)から年々減少しています。窃盗事件の発生が大きく減少していますが、振り込め詐欺をはじめとする特殊詐欺の被害は高い水準で発生しています。

埼玉県でも平成16年の181,350件をピークに年々減少し、平成29年は63,383件で数字の上では治安の改善が見られます。

平成17年以降12年連続で減少していますが、窃盗犯の検挙人員が減少していることや、警察官1人当たりの業務負担が全国でもトップクラスであるなど、厳しい治安情勢にあるようです。

2 ふじみ野市の犯罪動向

当市の刑法犯認知件数は、平成17年の2,451件がピークで、平成29年には908件と前年に続き、1,000件を下回り、減少傾向を維持できました。

また、犯罪率(人口1,000人あたりの刑法犯認知数)は、8.1件で県下平均の8.7件を下回り、72市区町村別の順位ではワースト30位まで治安は改善されています。

県西部方面(26市町村中)では、ワースト14位となっており、前年(平成28年)高い水準で発生していた自転車盗は、302件(前年比-10件)と減少したものの未だ高水準となっています。

ふじみ野市の年別罪種別犯罪認知件数（平成17年ピーク時との比較）

罪種	平成17年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	17年/29年比
全刑法犯	2,451件	1,321件	1,213件	1,121件	930件	908件	-1,543件
街頭犯罪	1,177件	640件	632件	583件	408件	414件	-763件
内訳							
路上強盗	4件	0件	1件	0件	0件	0件	-4件
ひったくり	54件	18件	14件	5件	0件	5件	-49件
自動車盗	80件	6件	2件	4件	4件	3件	-77件
車上ねらい	271件	98件	75件	55件	52件	44件	-227件
オートバイ盗	89件	26件	53件	58件	18件	19件	-70件
自転車盗	642件	467件	460件	430件	312件	302件	-340件
自動販売機ねらい	37件	6件	4件	8件	6件	8件	-29件
部品ねらい		19件	23件	23件	16件	33件	
侵入盗	184件	59件	34件	47件	23件	13件	-171件

※街頭犯罪とは、路上強盗、ひったくり、自動車盗、車上ねらい、オートバイ盗、自転車盗、自動販売機ねらい、部品ねらい等をいう。(部品ねらいは平成19年から街頭犯罪に加わる)

平成 29 年 市区町村別認知件数・犯罪率(人口 1,000 人あたりの刑法犯認知数)

順位	市区町名	犯罪率(件)	刑法犯 認知件数	推計人口
1	さいたま市大宮区	16.1	1,858 件	115,320 人
2	蕨市	11.9	871 件	73,179 人
3	草加市	11.7	2,904 件	248,691 人
4	三郷市	11.5	1,596 件	138,593 人
5	越谷市	11.5	3,908 件	341,057 人
6	滑川町	10.6	198 件	18,644 人
7	八潮市	10.4	922 件	88,342 人
8	羽生市	10.2	558 件	54,495 人
9	東松山市	9.9	914 件	91,913 人
10	川口市	9.9	5,758 件	582,371 人
11	戸田市	9.7	1,357 件	139,187 人
12	春日部市	9.7	2,247 件	231,825 人
13	さいたま市岩槻区	9.3	1,028 件	110,503 人
14	上里町	9.3	281 件	30,315 人
15	富士見市	9.2	1,002 件	108,924 人
〜	〜	〜	〜	〜
30	ふじみ野市	8.1	908 件	111,800 人

平成 29 年 西部地区(市町村別)認知件数・犯罪率

順位	市区町名	犯罪率(件)	刑法犯 認知件数	推計人口
1	滑川町	10.6	198 件	18,644 人
2	東松山市	9.9	914 件	91,913 人
3	富士見市	9.2	1,002 件	108,924 人
4	新座市	9.1	1,486 件	163,573 人
5	川島町	8.8	180 件	20,353 人
6	狭山市	8.6	1,296 件	151,274 人
〜	〜	〜	〜	〜
14	ふじみ野市	8.1	908 件	111,800 人

※市区町村別犯罪率は人口 1,000 人あたりの犯罪件数。順位は犯罪率が高い方が上位

3 ふじみ野市の罪種別の犯罪動向

(1) 自転車盗発生状況

全刑法犯認知件数の約3分の1を占める自転車盗被害件数は、その地域での犯罪バロメータといわれています。

そのため自転車盗の対策をする事で、全体の治安向上につながっていきます。

埼玉県内の全刑法犯認知件数が減少しているのは、この自転車盗の減少が大きな要因の一つと言えます。

下表は、県内の自転車盗の被害件数が多い市町村をまとめたものです。

ふじみ野市では、自転車盗の被害防止を呼び掛ける活動を続け、平成 17 年に 642 件だった被害が、平成 28 年には 312 件まで減少しましたが、自転車盗被害が占める割合は、平成 28 年には、33.5%と全刑法犯中、一番割合が高い罪種であり、自転車盗被害を減少させることが課題でした。

平成 29 年には、被害防止対策を実施したものの、全体に占める割合が 33.2%と前年と同様の割合であり、高い水準でありました。

また、市内では、自転車の鍵をかけない状態での被害が全体の半数以上を占めています。

自転車盗の件数が多い市町村(埼玉県)

順位	市区町村名	自転車盗件数	全刑法犯	犯罪率
1	川口市	1,780件	5,758件	9.9
2	越谷市	1,411件	3,908件	11.5
3	草加市	1,025件	2,904件	11.7
4	川越市	908件	2,940件	8.3
5	春日部市	755件	2,247件	9.7
6	所沢市	746件	2,794件	8.2
7	さいたま市大宮区	531件	1,858件	16.1
~~~~~				
23	ふじみ野市	302件	908件	8.1

#### 自転車盗の件数が多い地域(ふじみ野市)

順位	町丁名	自転車盗件数	施錠あり	施錠なし
1	上福岡一丁目	44件	29件	15件
2	霞ヶ丘一丁目	38件	21件	17件
3	ふじみ野一丁目	32件	10件	22件
4	うれし野二丁目	22件	15件	7件
6	上福岡五丁目	8件	5件	3件
6	鶴ヶ岡二丁目	8件	3件	5件
—	ふじみ野市内	302件	136件	166件

(2) 振り込め詐欺被害発生状況

全国のおレオレ詐欺や還付金詐欺などの振り込め詐欺の発生状況は、

平成 26 年 11,256 件(被害総額約 379 億 7800 万円)

平成 27 年 12,741 件(被害総額約 393 億 7100 万円)

平成 28 年 13,605 件(被害総額約 373 億 300 万円)

平成 29 年 17,915 件(被害総額約 373 億 6500 万円)

と件数は急増加しており、被害金額は前年より若干の減少はあるものの、高額な被害が出ています。

更に、その他の特殊詐欺(ネット詐欺など)を含めると、平成 29 年の被害件数は 18,201 件(被害総額約 390 億 2800 万円)となります。

埼玉県内の振り込め詐欺は、平成 29 年が 1233 件(前年比+261 件、+26.9%)、被害総額約 19 億 536 万円(前年比-1 億 9,622 万円、-9.3%)の被害でした。

平成 29 年埼玉県内の振り込め詐欺発生件数

特殊詐欺総合対策本部調べ

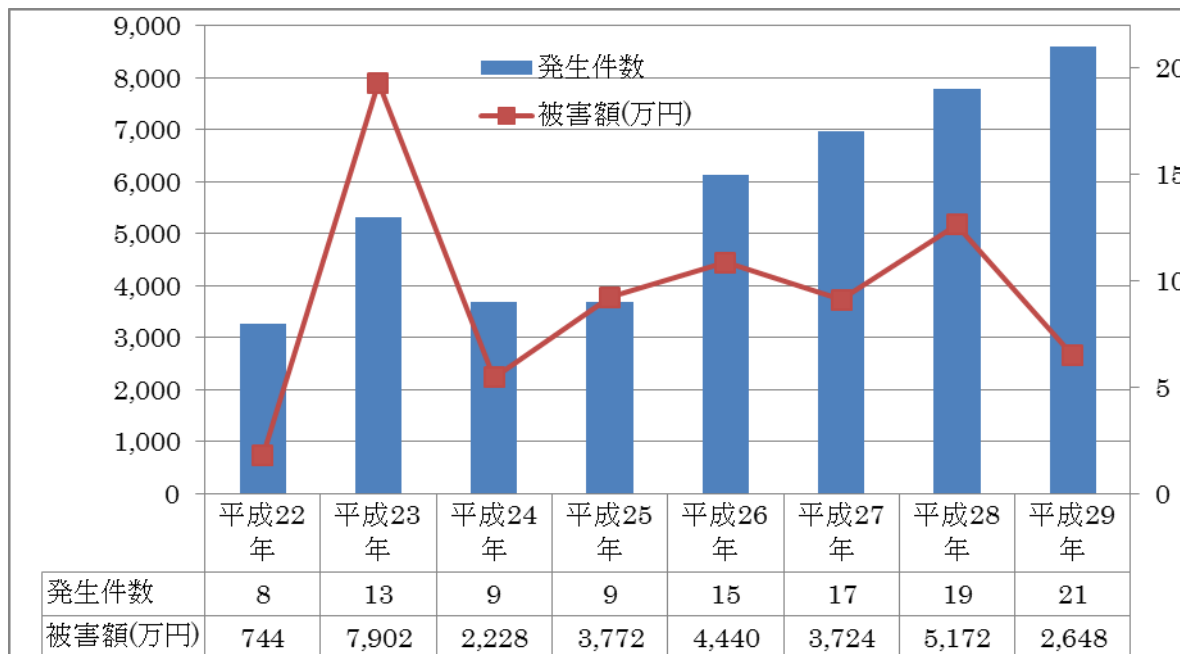
市町村	件数	本道 (内数)	被害金額	市町村	件数	本道 (内数)	被害金額
川口市	110	(7)	1億3267万円	八潮市	11	(0)	3661万円
草加市	76	(8)	1億8499万円	白岡市	11	(0)	1709万円
所沢市	61	(4)	8655万円	秩父市	11	(3)	1229万円
越谷市	51	(3)	9882万円	和光市	10	(0)	1784万円
春日部市	46	(10)	8458万円	加須市	10	(0)	1051万円
上尾市	44	(3)	6712万円	上里町	10	(3)	907万円
さいたま市浦和区	42	(3)	4869万円	幸手市	9	(0)	1885万円
川越市	41	(3)	5324万円	吉川市	9	(0)	1699万円
さいたま市見沼区	35	(3)	4824万円	日高市	8	(0)	448万円
熊谷市	33	(4)	3687万円	羽生市	7	(0)	246万円
さいたま市南区	30	(2)	7602万円	坂戸市	6	(0)	1139万円
久喜市	29	(2)	4012万円	毛呂山町	6	(1)	1308万円
鴻巣市	29	(3)	3603万円	伊奈町	6	(2)	159万円
さいたま市北区	29	(3)	3305万円	さいたま市桜区	5	(0)	1646万円
新座市	27	(1)	3542万円	宮代町	4	(0)	1573万円
朝霞市	27	(1)	3468万円	嵐山町	3	(0)	940万円
さいたま市岩槻区	25	(2)	4044万円	杉戸町	3	(0)	670万円
さいたま市西区	23	(2)	2375万円	三芳町	3	(0)	595万円
志木市	22	(0)	4053万円	小籠野町	2	(0)	1100万円
三郷市	21	(0)	4559万円	鳩山町	2	(0)	460万円
ふじみ野市	21	(4)	2648万円	寄居町	2	(0)	310万円
さいたま市大宮区	19	(2)	2303万円	美里町	1	(0)	780万円
桶川市	18	(1)	1641万円	吉見町	1	(0)	422万円
さいたま市中央区	18	(2)	1868万円	皆野町	1	(0)	100万円
北本市	17	(0)	2407万円	神川町	1	(0)	71万円
本庄市	17	(0)	2013万円	越生町	1	(0)	0万円
狭山市	16	(1)	2070万円	鶴ヶ島市	1	(0)	0万円
深谷市	16	(1)	1818万円	小川町	0	(0)	
人間市	16	(4)	1730万円	川島町	0	(0)	
東松山市	15	(0)	2670万円	ときがわ町	0	(0)	
蕨市	15	(0)	2578万円	長瀨町	0	(0)	
富士見市	15	(0)	2304万円	滑川町	0	(0)	
さいたま市緑区	15	(1)	2129万円	東秩父村	0	(0)	
行田市	13	(1)	2280万円	松伏町	0	(0)	
戸田市	13	(1)	1887万円	横瀬町	0	(0)	

ふじみ野市

ふじみ野市での振り込め詐欺発生状況は、県内ワースト 21 位(72 市区町村中)であり、平成 28 年 19 件(被害総額約 5,172 万円)、平成 29 年 21 件(被害総額約 2,648 万円)と被害金額は減少しているものの被害件数が増加しています。

ふじみ野市の振り込め詐欺発生状況

※被害額の単位は万円



被害現状は、オレオレ詐欺の手口による被害が多く、その要因として、キャッシュカード手交型の手口が増加したことがあります。

この手口は、警察官や銀行行員等を名乗り、「カードが不正に利用されている。」「カードを新しいものと交換します。」など言い、キャッシュカードを騙し取る手口となります。

犯人からすれば、被害者が金融機関で高額の現金を引き出す際に警察へ通報されて捕まるよりも直接キャッシュカードを騙し取ることで警察への通報リスクをなくしたのです。

このような新しい手口が増え、犯人からの予兆電話の数についても昨年よりも増加しており、警察や市役所への問合せ件数が増大しております。

平成29年ふじみ野市の手口別振り込め詐欺

※被害額の単位は万円

手口	件数	被害金額
オレオレ詐欺	18件	2,400万円
架空請求詐欺	1件	50万円
融資保証詐欺	0件	0
還付金詐欺	2件	198万円
その他	0件	0

このように、犯人は様々な手口で、被害者から現金をだまし取ろうとしています。  
警察署と行政だけの施策では、振り込め詐欺を抑止することが困難な状況となっています。  
今後は、迅速な情報発信と市民力を結集した施策を展開することが重要であり、特に高齢者との接点が多い業種等への見守り活動を依頼していきます。

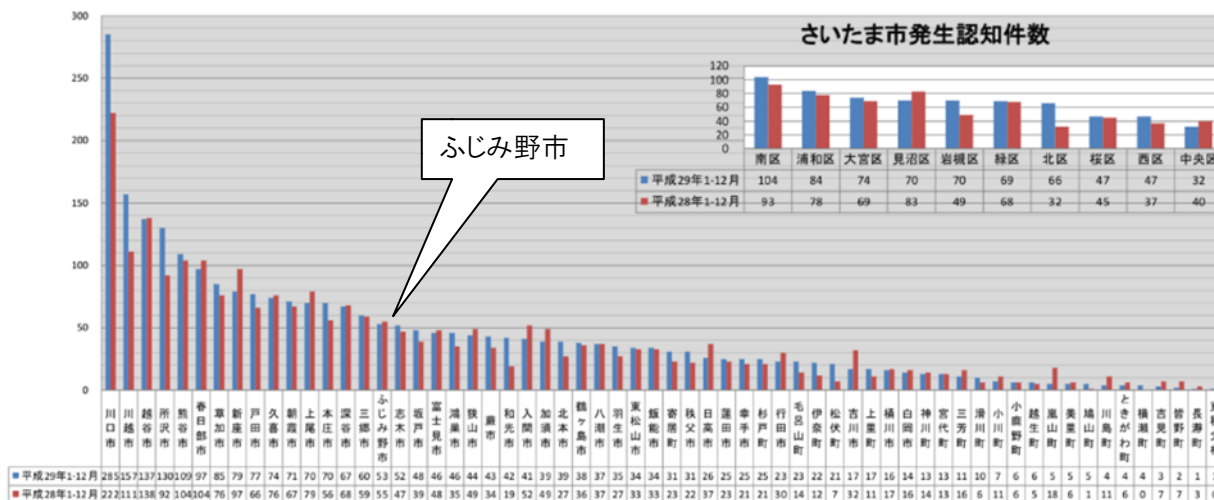
(3) 子どもに対する声かけ事案

声かけ事案とは、18歳以下の者に対して、犯罪行為には至らないが、「声をかける」「手を引く」「肩に手をかける」「後をつける」等の行為で、性的犯罪等の重大な犯罪の前兆として捉えられる事案をいいます。

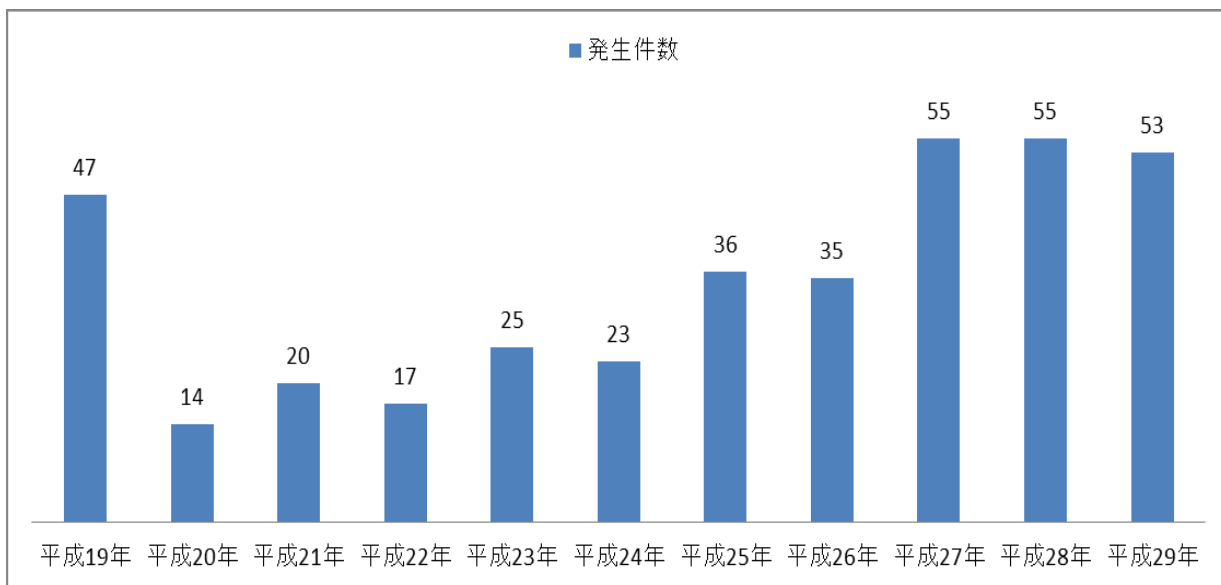
平成29年中、埼玉県内では3,318件(前年比+273件)と増加傾向にあります。

ふじみ野市では平成29年中に53件(前年比-2件)の声かけ事案を認知しており、人口の増加、若い世代の転入などにより、県内平均と比べても高い状況にあります。

※下表参照



ふじみ野市発生件数



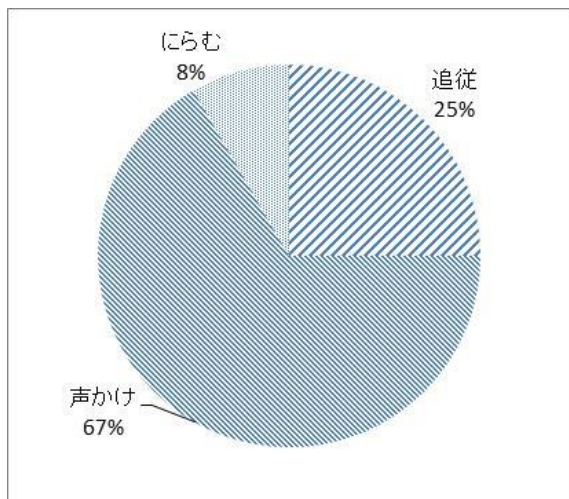
### 【事案形態について】

埼玉県内では事案の傾向として、「お菓子をあげる。車で送ってあげる」等の金品で誘う、または、甘言・詐言が全体の34%のうち約55%が小学生の被害でした。

また、車両や徒歩で追従する行為が全体の26%でした。

ふじみ野市では、「何年生？」や「一緒にあそぼう」などの声かけ事案が一番多く、黙って後を追従する事案も発生しています。

ふじみ野市内の事案形態



### 【発生場所・時間】

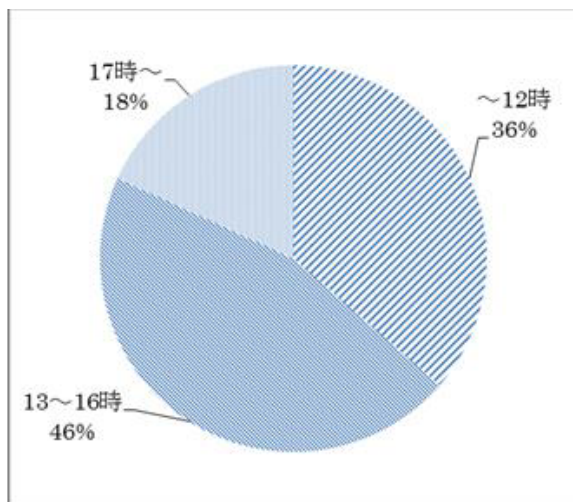
埼玉県内では声かけ事案の約5割が15～17時に集中しており、次いで7、8時の通学時間や18時以降の塾の時間などに発生が確認されています。

発生場所では76%以上が路上での声かけで、公園が8%となっています。

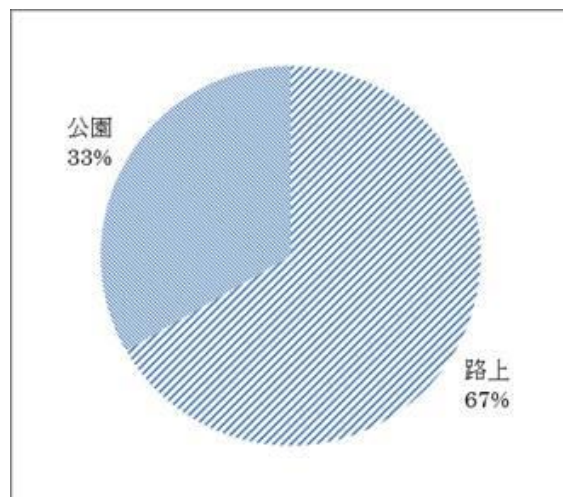
ふじみ野市では、下校時間のほか、土日の午前中などにも声かけ事案が発生している状況が確認されています。

発生場所では67%が路上で、公園での声かけは33%と、公園での発生も高い実態があります。

ふじみ野市内発生時間



ふじみ野市発生場所





### 【不審者への対応】

被害児童が不審者に出合った際の対応として最も多かったのが「走って逃げる」で次いで「無視する」となっています。

「110番の家などに逃げ込む」「助けを求める」は全体の10%となっており、大人に助けを求める行動は減少傾向にあります。

不審者が強行手段に出た際には、児童の力では防ぐことができないことから、周りに助けを求めることができるよう指導の徹底が必要です。

具体的には、市内の小中学校で校区内防犯会議を開催し、防犯情報の提供、交換等を実施しており、通学路の危険箇所を記載したマップの提供、速やかな防犯情報の配信、児童への指導要領などを伝えております。

## 4 自主防犯活動の状況

### (1) 全国と県内の自主防犯活動団体数

全国における自主防犯活動を行う団体数は、平成 29 年 12 月末現在 47,444 団体となります。

その内、青色回転灯装着車両による防犯パトロール団体は、全国で 9,834 団体あり、青色パトカーの数は 45,470 台が、全国で活動しております。

埼玉県内の自主防犯団体の件数は、平成 28 年の 5,984 団体から平成 29 年は、各企業や学生ボランティアなどに協力を求め、その数を増加させ 6,064 団体となっています。

埼玉県内の自主防犯団体数は、6,000 団体を超え、全国でもトップクラスの団体数となります。

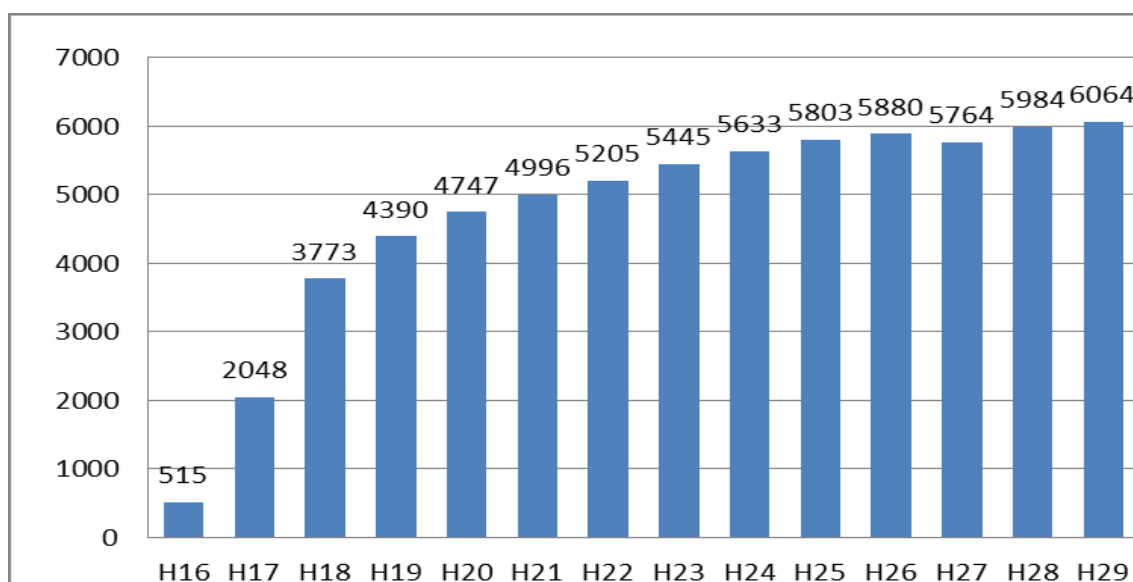
県内の青色回転灯装備車両による防犯パトロール団体は、248 団体で、630 台の青色パトカーが県内のパトロールを実施しており、埼玉県、埼玉県警察がその活動を支援しています。

ふじみ野市内では、パトロール実施者の高齢化や、自治組織への不参加など自主防犯に関して厳しい状況となっています。

市内人口は増加し、若い世代の流入も見込まれることから、新たな自主防犯体体制を作っていく必要があります。

近年、犯罪件数は減少傾向になりますが、防犯体制の縮小は、防犯の意識を風化させ、今後の市内における犯罪の増加を招く事になりかねないため、継続した防犯体制の確保が必要となっていきます。

埼玉県内の自主防犯団体数の推移状況



## (2) ふじみ野市の自主防犯団体

ふじみ野市内の自主防犯を行う団体は、現在 66 団体を登録しております。

自治組織やPTAで構成された団体が多く、地域の力で犯罪を抑止する事に貢献を頂いております。

また、市内には、青色防犯パトロールカーによる見守り活動を行う団体「ふじみ野市民青色防犯パトカー市民パトロール隊」、「ふくおか防犯パトロール」と2団体あり、定期的な運用を行っています。

両団体とも隊員を募集しており、今後、市内の防犯活動の中心になるように団体の拡大を図っていきます。



## (3) 自主防犯団体活動について

自主防犯団体の活動は各団体にお任せしておりますが、多くの団体が、

- 児童登下校時の見守り活動
- 夕方や夜間の防犯パトロール
- 防犯のぼりやポスターの掲出
- 防犯キャンペーンの参加
- 防犯会議の開催
- 犯罪情報の伝達、広報

など、さまざまな活動を実施しています。

各団体、自分達にできる活動をしていただくことが、自分の住む町を自分で守る意識につながっていき、犯罪件数の減少は、こうした自主防犯団体の地道な活動の成果であることは間違いありません。



## Ⅱ ふじみ野市の平成29年度防犯事業の概要と今後の課題

### 1 防犯コミュニティ事業

		平成29年度の概要
防犯メール事業		<p>○犯罪発生情報に合わせ、被害防止対策を合わせて送信</p> <p>○年間85件の防犯メール配信。振り込め詐欺情報・不審者情報・犯罪情報など</p> <p>平成30年3月末現在で登録者は6782人、前年比+640人増加している。</p>
防犯リーダー・ボランティア育成事業	青色防犯パトロール講習会	<p>日時：4月21日（金）午後2時30分～午後3時30分</p> <p>9月28日（木）午後4時00分～午後5時00分</p> <p>2月17日（土）午前10時00分～午前11時30分</p> <p>会場：ふじみ野市役所 本庁舎大会議室等</p> <p>講師：東入間警察署生活安全課警部補</p> <p>内容：青パトでのパトロールに必要な知識・技術の教養を実施。</p>
	わんわんパトロール講習会	<p>日時：7月8日（土）午前10時00分～午前11時30分</p> <p>会場：ふじみ野市役所本庁舎5階A大会議室</p> <p>講師：藤井聡氏（オールドッグセンター・公認訓練士）</p> <p>参加者：35名</p> <p>内容：愛犬との安全な散歩・パトロール方法についての講話</p>
	ウォーキングパトロール講習会	<p>日時：10月14日（土）午前9時30分～午前11時30分</p> <p>会場：ふじみ野市立上野台体育館</p> <p>講師：埼玉県ウォーキング協会 主席指導員 高橋雍昌氏</p> <p>参加者：31名</p> <p>内容：ウォーキングの基礎、効用と効果・事故防止とパトロール時の注意点</p>
	地域防犯リーダー講習会	<p>日時：9月30日（土）午前9時30分～午前11時30分</p> <p>会場：ふじみ野市役所本庁舎大会議室</p> <p>講師：宮田美恵子先生（NPO法人日本こどもの安全教育総合研究所）</p> <p>参加者：78名</p> <p>内容：地域防犯と子どもの見守り活動について</p>
校区内防犯推進活動		<p>学校関係者、児童の見守り活動実施者に対する防犯情報の提供を実施。</p> <p>市内の小学校12校で実施。年間19回の会議を行った。</p>
防犯推進会議への支援		<p>各防犯団体への防犯講習のほか、防犯のぼり旗・ポスター等の配布、発生する犯罪情報の提供などを随時実施。</p>

#### ○今後の課題

市内の防犯件数は減少傾向にありますが、大型商業施設建設や人口増加など、今後、犯罪が増加する危険性があります。

防犯リーダーは、若い世代の参入世代交代が必要となっています。

## 2 防犯啓発事業

	平成29年度の概要
防犯 キャンペーン	「減らそう犯罪の日」とあわせ、防犯キャンペーンを実施。 特に駅周辺や、大型集合住宅の自転車置き場などにおける防犯対策、老人を対象とし、金融機関職員と合同でのキャンペーンなどを実施した。
親子防犯教室	市内幼稚園で年長児（新一年生となる児童）と保護者を対象に390名の園児と保護者に対する講習会を実施。 新一年生となることから守ろう約束の下敷きの配布。
防犯講話 (出前講座)	市内の自治組織・団体への出前講座を、年間16回の開催、参加人数延べ721人に実施。
青色防犯 パトカーによる 市内パトロール	児童の下校時間に合わせ時間を変更してパトロールを行った。 年間355回実施、延べ走行距離7,156kmのパトロールを行った。

### ○今後の課題

治安の回復が進む中、防犯意識が風化しないように、継続した対策が必要となります。  
また、新しく転入してきた方へ、地域の防犯体制を理解していただく必要があります。

### 3 東入間防犯・暴力排除推進協議会の協力

東入間警察署管内の防犯・暴力排除の取り組みを推進するために、ふじみ野市は、東入間警察署・富士見市・三芳町とともに東入間防犯・暴力排除推進協議会を組織し、その活動を進めています。

#### (1) 東入間地域防犯推進委員委嘱状交付式

地域防犯推進委員とは、町会等の自治組織の長及び地域安全活動に意欲的に取り組む方で、自治組織の長等の推薦により地域から選ばれた防犯ボランティアリーダーの方を言います。

2市1町と同委員に対して、東入間防犯・暴力排除推進協議会長と東入間警察署長連名による委嘱状の交付式が隔年で実施されています。

#### (2) 東入間防犯・暴力排除推進大会

平成 29 年度は、10 月 25 日(水)に三芳町で開催されました。

本年度は、ふじみ野市で 10 月 24 日(水)で開催し、2市1町の功労団体・個人の表彰、アクションとして防犯関係の講演も行います。

#### (3) 防犯・暴力排除歳末街頭キャンペーン

12 月に、上福岡駅などで夕方頃から東入間警察署員、2市1町防犯主管課職員、会員団体が参加して啓発品を配布するキャンペーン活動を行います。

例年、上福岡駅、ふじみ野駅、鶴瀬駅、みずほ台駅で(当市は上福岡駅がメイン)キャンペーンと同時に、防犯・暴力排除を呼びかける街頭パトロールを実施しています。

#### ○今後の課題

東入間防犯・暴力排除推進協議会の加盟団体の主は、自治組織になりますが、住民の地域活動離れなどが問題になっています。

地域活動の必要性を地域の方に理解して頂き、地元事業所・企業の皆さんとも更なる連携を図り、活動を進めていくことが必要となります。

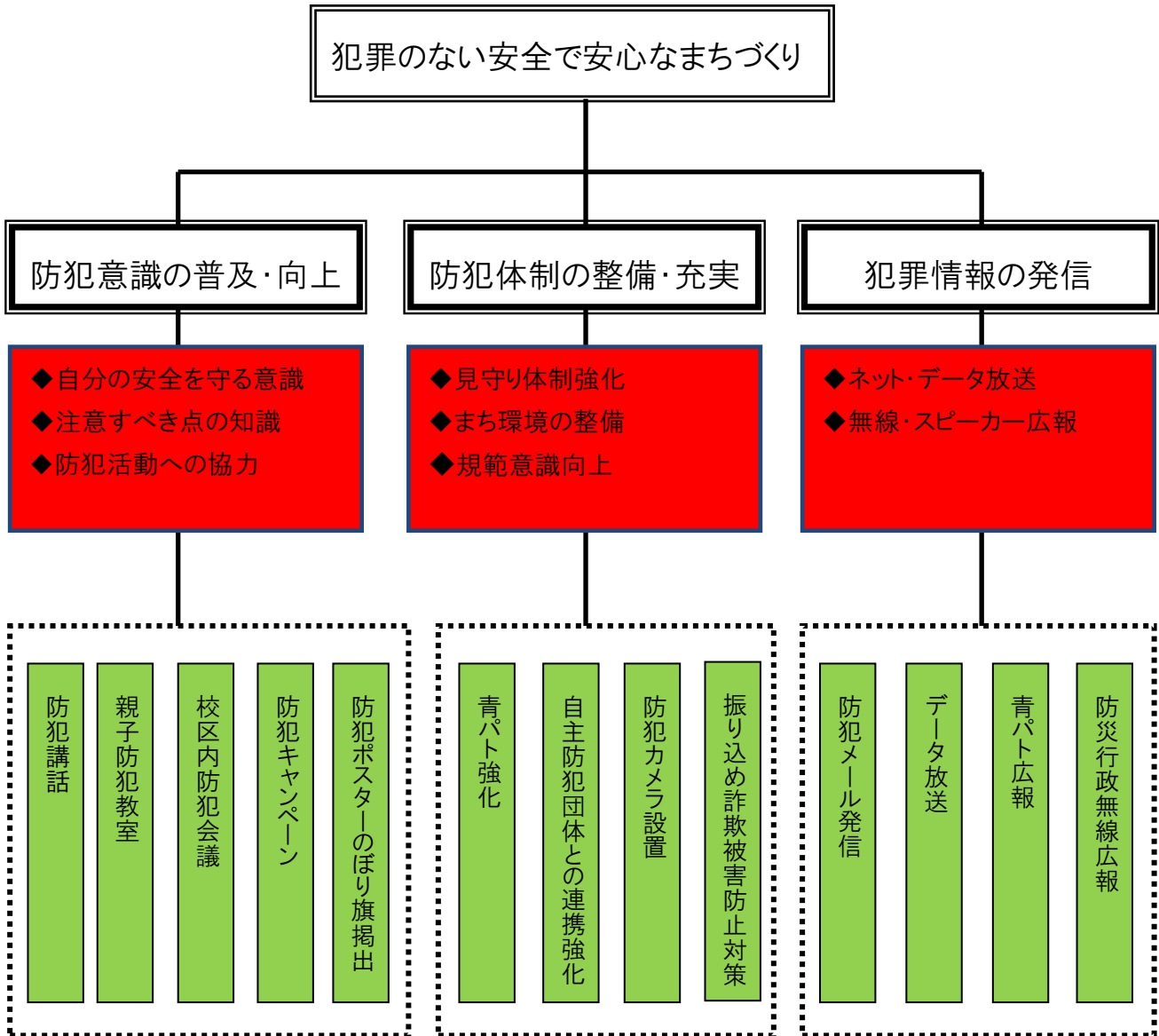
### Ⅲ ふじみ野市防犯対策計画(平成 30 年度)について

平成 30 年度の防犯対策は、

「犯罪のない安全で安心なまちづくり」

のために市民一人ひとりの防犯意識の向上を図ります。

また、関係機関と連携し、地域ぐるみの防犯体制の整備・充実を図り、犯罪情報を発信することで次世代に継承されていく防犯体制を目指し、「犯罪件数の減少」、「児童の安全確保」、「振り込め詐欺被害防止」を目指します。



# 1 市民の防犯意識啓発事業

市内では様々な犯罪が発生していますが、無施錠の自転車を盗まれる被害や、荷物を自転車カゴに入れたまま、目を離して盗まれる被害など、注意をすれば防げたかもしれない事案もあります。

そうした犯罪を一件でも減らすため、市民一人ひとりが防犯意識を持ち、注意することで被害を防ぐようにして頂きたいと考えています。

一度、被害に遭えば、嫌な思いや、金銭的な被害もすべて、自分自身が受けることになります。

「自分・家族の安全は自分が守る」

という気持ちを持っていただくために意識啓発活動を行っていきます。

その対策として、昨年に引き続き、以下の対策を実施していきます。

できるだけ、多くの市民に防犯意識・防犯知識を広めるため、御協力をお願いします。

	平成 30 年度計画
防犯講話	<p>犯罪の発生状況や対策について、新しい情報を提供し、一人ひとりが被害に遭わないように注意し、広めてもらうよう講話を行います。</p> <p>自治組織・社協だけでなく、市内事業者等への防犯講話も増やしていきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者向け振り込め詐欺被害防止講話</li> <li>・児童向け不審者への注意</li> <li>・女性向け痴漢被害防止講話</li> <li>・新入社員向け各種犯罪被害防止講話</li> </ul>
親子防犯教室	<p>市内幼稚園で年長児（新一年生となる児童）と保護者を対象に講習会を実施。</p> <p>園児と保護者に対し、防犯意識を広めていきます。</p> <p>園児自身にも防犯意識を持たせ、危険を回避する行動を幼いうちから、学んでもらいます。</p> <p>また、保護者にも学んでもらい、指導・見守りを実施していただきます。</p>
校区内防犯会議	<p>学校区ごとに、児童への声かけ事例や地域に応じた被害防止対策を検討して、見守りを行う方々に、児童の見守りをする上での注意点などを学んでいただきます。</p> <p>また見守りをする方々から、児童へ被害予防の指導を、日常生活の中で伝えていただきます。</p>
防犯 キャンペーン	<p>警察、金融機関などの関係機関と協力し、駅や大型ショッピングモール等でのキャンペーンを実施して広く、被害防止啓発を行います。</p> <p>特に現役世代で、地域との接点が少ない方にも、防犯活動を理解してもらうために駅頭によるキャンペーンを実施していきます。</p> <p>また、キャンペーン会場も新規開店した店舗などにも積極的に協力をお願いします。</p>
防犯ポスター のぼり旗の掲出	<p>被害防止ポスターやのぼり旗の掲出を道路や店舗に数多く行うことで、市民に注意を促し、犯罪企図者の犯行を思いとどまらせることを目的に掲出します。</p> <p>また、古くなったポスターや、破れたのぼり旗を放置する事は、地域の防犯への関心の薄さを表し、犯罪増加の要因になるため、管理者へ早期撤去を依頼していきます。</p>



## 2 防犯体制の充実事業

まちの構造やコミュニティと関係した犯罪を「機会犯罪」といいます。

「犯罪企図者」がいて、「犯罪被害の対象(被害者・被害品)」があり、「犯罪を行いやすい環境」が揃うと犯罪は発生するというものです。

つまり3つの条件が1つでも欠ければ、犯罪は発生しないのです。

ここでは、「犯罪を行いやすい環境」を取り除くことで犯罪を予防します。

一つ目は「見守り隊」など見守り体制を強化することで、「犯罪を行いやすい環境」を無くします。

見守り体制については「お互いが支えあう地域社会」という意識を、地域で広め、地域で子供を見守ることの意識を高めていく必要があります。

二つ目は「割れ窓理論」などにもあるように、小さな秩序違反行為が、野放しにされると軽犯罪が多発し、やがて凶悪な犯罪が発生することから、市内の住民モラルを維持するための環境整備により、「犯罪を行いやすい環境」を無くしていきます。

	平成 30 年度計画
青パト強化	市民ボランティアである青パト隊の隊員増強と装備の充実をはかり、パトロール体制の充実・強化を実施します。また、青パト講習会により、隊員一人ひとりの能力向上を図ります。
自主防犯団体の強化	防犯推進会議加盟団体の増強を図り、各団体の防犯リーダーに対する講習も継続して実施し、自主防犯団体の拡大強化を図ります。 ○講習会開催日：平成 30 年 10 月 27 日実施予定
関係機関防犯団体の連携強化	東入間警察、ふじみ野市、富士見市、三芳町で構成される防犯団体である東入間防犯・暴力排除推進協議会への協力を引き続き行っていきます。 また、振り込め詐欺などの犯罪は、金融機関や無人ATMなどで行われることが多いため、警察や金融機関のほか、ATM設置店舗などと連携を強化していきたいと思います。
防犯カメラ設置	現在、市内には防犯カメラを設置した公園が2か所ありますが、今後、他の公園にも防犯カメラを増設し、犯罪の抑止を図ってまいります。 また、公共場所に設置されている防犯カメラについて、改めて明確に表記することで、犯罪の抑止効果を高めていきます。
わんわんパトロール	パトロール用品を身に着けて、愛犬と散歩することで、防犯パトロールと同じ効果が望めます。事件目撃時の通報をするなど、わんわんパトロール時の注意点を含め、愛犬との安全な散歩方法を専門家から講習会を実施します。 ○講習会開催日：平成 30 年 7 月 7 日実施予定
ウォーキングパトロール	パトロール用品を身に着けてウォーキングすることで防犯パトロールと同じ効果が望めます。事件目撃時の通報などウォーキングパトロール時の注意点を含め、安全な歩き方について専門家による講習会を実施します。 ○講習会開催日：平成 30 年 10 月 13 日実施予定
振り込め詐欺被害防止対策	犯人から電話がかかってきた時に自動応答して会話録音する「対策機器」を活用することで被害を防ぐことができます。市内在住の65歳以上の方を対象に振り込め詐欺等対策機器購入費の補助(購入金額の2分の1、上限5000円)を開始します。

### 3 犯罪情報発信対策事業

市民からの要望として、犯罪発生情報の提供という声は多く聞かれます。

特に重要・凶悪事案や、緊急性近所で発生した際には、いち早く情報を知り、防犯対策を行いたいです。

これまでも、可能な限りの情報を、様々な手段で広報してきましたが、今後もその対策を継続・拡大していきたいと考えています。

まずは、メールやテレビのデータ放送で犯罪情報を発信しています。

インターネットの情報伝達は、短時間に多くの人に情報を伝達する上で、かなり有効な手段ではありません。

しかしながら、メールや、ネット環境のない人や、機器の操作が苦手な方など、全ての方に伝えるのは難しい状況です。

そのため、防災行政無線や青パトによる広報などを行っています。

しかし、防災行政無線や青パト広報は、その場にいる多くの人に、情報を伝達できますが、室内や、場所によっては、聞こえなかったり、聞き逃した際には内容を確認できない事もあります。

ふじみ野市では、メールや防災行政無線などを組み合わせ、情報発信を実施していきますので、様々なツールで情報を確実に入手することを心掛け、家族や、周辺の方にも伝達するようにお願いします。

	平成 30 年度計画
メール発信	Fメールによる犯罪情報提供の拡大、登録者を増加させ、Fメールの登録者数 7,500 人を目指します。
テレビ データ放送	テレビ会社のデータ放送で、市町村ごとの各種情報を流していることから、犯罪情報の注意喚起を行います。 ※データ放送では、データ更新の時間が決められているため、情報発信の時間が遅れることがあります。
青パト広報	振り込め詐欺等の地域性のある犯罪については、青パトで特定の地域を走りながら広報することが有効となります。 発生状況に応じて適時青パトによる運行を実施します。
凶悪事件発生時の 防災行政無線 広報	市・警察・自治組織連合会の三者協定に基づき、重要犯罪発生時には、即時に情報発信を行える体制づくりに努めます。